



# 野木小だより

平成29年1月25日  
— 第11号 —  
野木町立野木小学校長  
江田 裕之

## 3学期のテーマは「ありがとうを伝える！」

1学期は、「思いやり」、2学期は、「笑顔になれるのは…笑顔でいられるのは…」というテーマで教育活動を進めました。2学期の終業式では、真剣に臨んだ授業や精一杯に頑張った多くの学校行事の様子をスライドショーにして、振り返りました。どの児童の表情にも、2学期の



テーマであった笑顔が満ち溢れていました。そして、印象に残った「笑顔になれた場面」や思い出をカードに記入し、左の写真のような掲示物を作成し、児童の昇降口に掲げています。

児童は、4月からこれまで、係や清掃、委員会などでそれぞれの役割を果たしました。遠足や宿泊学習などの学校行事を通して友情や協力という意識を高めながら心豊かに成長を遂げています。また、本校の特色ある教育活動の一つである「学年縦割り班」の交流で絆も強めているように感じます。

3学期は、1年間のまとめの学期でもあります。4月から取り組んできたことに対して、胸を張ってほしいと思います。そして、「この学級でよかった!」「この学校でよかった!」という思いと成長を支えてくれた多くの方々に対して心から「ありがとう」を伝えられ

る3学期になることを切に願います。

児童、保護者、地域の皆様や教職員とでこのような思いを共有していきたいと考えています。

## 給食週間に様々な活動を実施しました!

1月16日(月)～20日(金)を給食週間とし、学校給食や食に関する意義について理解を深め、給食に携わる多くの方々への感謝の心を育む取組を実施しました。児童から募集した作文や標語の朗読、給食委員を中心に調理員さんへの感謝の会などを実施しました。



### 【標語入賞作品より】

- なかよしな みんなとたべよう たべものは
- おいしいな はんでにここに いい時間
- はらへった きゅうしょくの時間 待ち遠し
- いいにおい 感謝をしながら いただきます
- 一粒に 感謝を込めて いただきます
- 給食が みんなの笑顔で おいしさアップ

今年度、月1回の「残さず食べようの日」を設け、無理のない範囲で各学級で取り組んでいます。好き嫌いなくバランスのよい食事を心がける意識や感謝の気持ちも高まりつつあります。

また、保護者の発案による「親子給食の日」をすべての学年で実施することができました。年に1回ではありますが、普段以上に楽しそうな雰囲気教室いっぱい広がっていました。

### 【作文入賞作品の一節より】

- 給食は、幸せをつくります!
- 感謝の気持ちを忘れずに「ありがとう」
- 楽しみに待つ時間が幸せのひとつ
- 給食で嫌いなものを食べられるようになった。

## 総合的な学習の時間の学びを発信します！

第3学年以上の学年では、「総合的な学習の時間」（以下、「総合」）が週2時間あります。「総合」は、各教科にまたがる課題について、問題解決や課題を明らかにしようとする時間です。本校は、「私たちの町、野木町」という学校プランを立て、野木町をさらに素晴らしい町にしたという構想の基、計画を立て、実施しています。各学年のテーマは、以下の通りです。

第3学年 「野木小や町の自慢をしよう」

第4学年 「人にやさしいことって」

第5学年 「地球にやさしいことって」

第6学年 「地域発見」

第6学年では、地域の歴史や文化を学び、野木町発展のために町づくりに関する提案をしました。さらに、「総合」で学んだ内容を、自分の考えを盛り込み作文で表現するという実践につなげました。今回、下野新聞の読者登壇「10代の声」欄に3名の児童の主張が掲載されましたのでご紹介いたします。

### 伝統行事を残し ふるさとを守ろう

清水 絢音さん

◇私にとってよりよい未来とは、ふるさとを守っていくこと。そのためには、地域の伝統行事を残していきたい。

◇私の地域には、「ささら祭り」という祭りがある。豊作を祈るための祭りだ。私は小学校に入る少し前に、この「ささら」に参加したことがある。私の役は金棒という役だ。着物を着て、列の先頭に立って歩く。列にはたくさんの花を付けた山車や獅子舞の格好をした男の子がいる。獅子舞は踊り、棒舞の役の子は棒を持って戦う演技をする。この祭りは今でも毎年春になると行われる。

◇この祭りは大切な地域の特色の一つだと思う。私にできることは、これからも祭りに参加すること。それがふるさとを守ることに繋がると思う。そして、たくさんの人に、この地域のことを知ってほしい。 (H28.12.15 付)

### 大好きな煉瓦窯 未来に伝えたい

荒川 優太さん

◇僕たちの町には、文化財に指定されている「煉瓦窯」がある。僕はそこが大好きだ。春にクラスのみんなど見学した。煉瓦窯の煉瓦は一つ一つが、けずれていてごつごつしていた。古さから歴史を感じた。積み方はフランス式というもので、明治時代に造られたものだと言明していただいた。

◇また、ホフマン式といって一度にたくさんの煉瓦を焼けるように、考えて建てられたものだという事も知った。そして、この時代に外国と交流があったことも分かった。このことは、僕たちが未来に伝えていかなければならないと思った。

◇見学の後で、「煉瓦窯」の絵を描いた。一つ一つの煉瓦の古さや大きさが分かるように、心を込めて描いた。僕の町の煉瓦窯を多くの人たちに知ってほしい。 (H29.1.7 付)

### みんなで協力し 緑あふれる街に

島田 あみさん

◇緑あふれ、ごみ一つ落ちていない街づくり。これは、よりよい未来に欠かせないことだ。そのためには、みんなが協力することがよりよい未来への第一歩だと考える。

◇私の学校では、除草活動や野木神社参道の落ち葉掃き、クリーン活動を行っている。どの活動も一人では大変だが、児童全員と先生、地域の方々みんなで協力して、きれいになった所を見ると、すがすがしい気持ちになる。また、5年生の時に総合学習で「水辺の楽校」で蛍を育てるのを手伝っていただいた。蛍のえさや育て方を教えてくださったのは、地域の方々だった。最初は目に見えないほど小さかった幼虫を、友達と協力して育てた。

◇これからも、緑あふれる街づくりのために友達や地域の方々と一緒に協力していきたい。

(H29.1.21 付)

